

# 越前屋俵太

ストリートの子、イタズラ男、精神年齢5歳の男の子、動物レポーター、お奉行さん……。自分で面白いと思ってるうちに、いろんなキャラクターになりました」と、本人が語るように、越前屋俵太のキャラクターは実に異色で、多彩だ。そして俵太のパフォーマンスに、人々は否応無しに反応してしまう。そこで腹を抱えて笑っている君も、もしかして俵太の「笑いは全世界共通論」の餌食になっているかも知れない。





# What's 俵太?!

越前屋依太。覚えにくいようで、一度覚えてしまおうと、忘れられない不思議な漢字だ。

「よう、何でそんな名前つけたんよ」とって言われるんです。漢字に強い人はすんなり読んでもいるくらいですから(笑)。今でこそ「こんなオモロイ名前、忘れるはずがない」とって、言ってくれる人もいますが、わざとイメージの湧かないような名前にしたつもり。特に意味はないけど、強いて言えば、時代劇なんかによく「越後屋」っていうのが出てくるのでしょ。だいたい「越後屋さん」は悪人として登場する場面が多いですよ。それに比べて「越前屋」は、たまに出てきたと思ったら、お人好しで、すぐに人に騙されるヤツなんですよ。結局、世の中ってそんなもんなんだな、と21歳くらいの頃に感じる事があって……。

僕らって親や学校の先生に子供の頃から、「正直に生きろ」とって言われて育てられてきてるけど、実際に世の中に出れば、適当に小スルイ方がうまくやっつけていける。そんな世の中の仕組みがわかってしまった結果「自分は馬鹿正直なままでいいや」と思っ、越前屋依太っていう芸名にしたんです。

そんな依太がテレビ界に顔を出すようになったのは、13年ほど前。彼が大学に在学していた時だ。

「タレントというのは、仕事の話がきて、「こいうふうによって下さいよ」と言われたことをやるのが普通ですけど、僕はそんな仕事だけをやりたくなかった。テレビっていうシステムは番組の企画が先にあつて、それにタレントが当てはめられるのが常でしょ。例えばばさんさんみたいな人だったら、あの人がらしく出演できる番組を持ってられるけど、ほとんどの場合はそうでない。自分で「こんな面白いのになあ」と思う企画があつて、し

かもそのアイデアがあまりにも突出してた場合、なかなか番組になりにくいじゃないですか。で、「勝手にやれば」って話になりますよ。その「勝手にやりました」っていうのが今回ビデオでリリースされた作品なんです。」

確かに依太の活動は早なるタレントの転身を越えている。ある時は企画から入り、またある時はディレクションをとったりと、活躍は実に多彩。そして、今回、そんな依太のこれまでの作品をまとめたビデオがリリースされた。4シリーズ全15巻同時レンタル開始という型破りなリリース法は、いかにも依太らしい。

## 俵太のビデオがとうとう出た!

「これまで13年間やってきたことの中で面白いのができたなあと思えるやつを編集してたら、この数になってしまいました。最初は「全部

いっぺんにリリースするのは多すぎるで」と人からよう言われました。「借りてくれる人も困るやろ」と(笑)。でも、自分の中で溜めとくより、一気に出してしまおう方が次のステップに進むためのいい機会になると思っ、それから。あんまりためとくと、新しいものも考えようとしなくなる。でも、これまでのことを一回終わったもんやと思えば、また次から新しいことを考えたさなアカンようになるでしょ」。

それは越前屋依太というタレントが転機を迎え、それまでの集大成としてビデオをリリースしたということか。

「僕が作品を制作するのはインディーズレベルのノリなんです。自分が面白いと思ってることをテレビ番組として作ろうと思っ、テレビの世界というのは非常にシステムティックにできてるから、そんなに思うようにいかない。だったら自分でリリースするしかないじゃないですか。人によつたらそれは





映画であったり、CDであったりするんだけど、僕にとつて一番身近な存在がたまたまビデオだった。で、これからビデオとして制作していく過程の中で、今まで民放の深夜で作ってきた番組をビデオにまとめて出してみようと思ったんです。中には福井でしかやってない番組もあるし、それをビデオにしたら、もっとたくさんの人に見てもらおうことができると。あれもこれもやりたいと思ってるうちにできてしまった僕のキャラクター像を、挙に見てもらおうと、見る人の楽しみもいろいろふくれあがるし、僕はその反応を見るのが楽しみ。

「笑っていても、いろんな笑いがあるでしょ。ビックリするような笑いや、クスッと面白くってというのは非常に起伏のある人間の感情で、追求していくとホンマに奥深いんですよ、これが。でも、今のテレビの笑いの多くは約束事みたいなになって、笑わないとダメとか、もっとひどくなると笑わないと不安に思ってしまう。ある特定の世代の人は本当にそれが面白く思ってるかも知れないけど、違う世代の人間が見ると『何がオモロイねん』となりますよ。それよりもNHK教育でおじさんとおばさんの真面目なやり方に笑ってしまうかもしれない。要は笑いというのには切り口なんです。真面目なことも、見方を変えれば非常に面白く思えることができる。だから僕はそんな笑いを掘り下げて、あれこれ試行錯誤やっています。

でも、僕が「面白いんちやうか」と思ってたことを人に伝えるのは難しいんですよ。例えば「動物にインタビューしたらオモロイと思うで」と、いくら人に言ったところで、通じない。逆にみんなこぞって「そんな何がオモロイねん」って感じて。何でかというところの人は動物にインタビューするとこんな想像できないんですよ。やったことがないから。でも、僕はそれを想像するのが仕事で。そして、想像したものを形にして、なおかつ見た人に笑ってもらおう。笑ってもらえるものをつくって、はじめてプロと言えるんです。だからこそ、自分でオモロイと思つたことをやりたい。ただ、自分がオモロイと思つたことばかりやっても、はずれてばかりだとダメ。僕はそれを見極める力をこの13年間で培ってきました。ところが受け手が違うと、これまた反応が全然違う。いくら僕が自信を持つてる作品を見ても、やっぱり「何がオモロイねん」と思う人がいる。「依太の生き物ハンサイ」で動物レポーターやった時でもそうだったし、「依太の達者でござる」で

お奉行さんやった時もそうだった。「依太の達者でござる」は福井だけでしか放送しない番組ですが、内容は僕がお奉行さんのカッコして道端を歩き、出会った人と話をするだけという内容。この話を持ちだした時、みんな口を揃えて「やめとけ、そんな。絶対オモロくない」って言いましたね。「普通なら面白い人がいて、それを事前に取りこぼしてから訪ねていくのなら話がわかる。でも、突然会うた人に話しかけるわけだろ。その人が面白いかどうかわかるわけじゃないか」って。でも、僕の中には「絶対オモロイで」という確信があるわけなんです。面白いと言われている人をこねくり回して番組つくるよりも、そのままの人のほうが面白いと思ってるんです。結局、この番組は福井だけで放送が実現して、地元の人たちは狂喜乱舞してくれた。今度はビデオで全国の人に見てもらって、笑ってほしいです。

越前屋依太はこれまでの作品に対し、自分





なりの手応えを感じようとしている。そして、次のステップに進もうとしているのだ。

## 次は海外番組に挑戦!

「次にやりたいのは、海外番組。今の海外番組はほとんどクイズ形式になってたり、例えばアメリカをレポートするといつても、誰もが知っているアメリカをレポートするだけ。僕がやりたいと思ってるのは、アメリカの普通の道端で、突然スキヤキを作ろうと思いつく。でも、ナベや材料を揃えようと思っても、どこで何を売ってるのかわからん。しかも、どこでやるんや、という話になりますよね。そこでそこらへんの人たちに聞いて回ったり、もし、「スキヤキを食べたことないねん」という人がいたら、その人を誘ったり、その人の家に行ってスキヤキを一緒に食べる。これを小さいビデオカメラで撮るんですわ。これをアメリカ編とかバトナム編ができたら面白いでしょ?」

自らを「お笑い芸人のひとり」と称する依太。その「笑い」に対する取り組み方は非常にシリアスである。

「僕は、女子学生なら女子学生だけ、おばちゃんならおばちゃんだけというふうには、ある特定の人だけを笑かすのはあんまり好きとちゃうんです。それよりも、世界中の人を笑かしたい。ヨーロッパにはヨーロッパの笑いがあり、共産圏にも共産圏の笑いがある。世界中、誰だって笑うんですから。でも、もっとつきつめてみると、言葉なんか通じなくても、

世界中の人を笑かすことができるかも知れない。

僕は無声映画時代のチャップリンやバスター・キートンが大好きなんです。特にキートンは危険なくらい体を張った演技で、人を笑かしてくれた。ところが、映画がトーキーになってからは全然オモロくないですよ。それまでは非常に大きなアクションをしなければならなかったところが、言葉をしやべれるから、ほんの小さな動きで充分になる。その瞬間「笑い」が全世界共通のものでなくなってしまう。

でも、どこの国の人の日常生活の中にも「笑い」はある。それはどんな時かを考えると、まるで意図していない事態が起こった時じゃないかと思うんですね。例えば吹き出した瞬間、青森が飛び出してコーヒーの中に入ってしまった、なんてことがあったら、腹がよ



じれるぐらい笑いますよね。突然、物が落ちてきた時もそう。その、不意に訪れる笑いを意識的につくりだすのが、今の僕の仕事です。

僕が動物にマイクを向けたりしてたのも、動物が予想外のリアクションをしてくれるから。例えば、マイクにかじりついてくれるやろな、という予想はできる。でも、僕は動物と事前に打ち合わせもリハーサルもやってないので、そこにはヤラセも特殊効果もない。正真正銘の面白さがそこにあるわけです。次に依太が取り組もうとしている海外レポーターは、まさにその答えを模索する第一段階なのだ。

## 依太、フランス人を笑かす。

ビデオ「越前屋依太 傑作集」で印象的な依太のパフォーマンスがある。アリの被り物をして、バリの街中を歩くというものだ。

「あれは当時のフランスにクレソン大統領という人がいたんですが、公な場所です。日本人は働きアリや」と、日本人批判をしたんですわ。これが日本で問題になってたんで、これをネタに何かできないかという話があったんですよ。とりあえずアリの被り物をしてフランスに行くしかないと思ってフランスまで行きました。そこでフランスの街中を歩く人たちに日本語で「私たちのところがアリなんでしょうか?」と聞いて回った後、最終的に首相官邸にまで向かったんですよ。ところがアホも何も取ってないから、もしかすると、新

手のテロリストとして逮捕されるかも知れない。その行動はテレビ番組の枠を完全に超えてたんですよ。最初に決めてたのはアリの被り物をしてフランスに行くことだけだったんですよ。普通テレビ番組だったら、安全と

いうルールを完全に敷いた上で、俳優さんなりを送り込むでしょ。でも、僕はそれを一切拒否して首相官邸まで行った。ちよとどその模様を撮影してたのが現地のカメラクルーだったんですが、僕の行動にいたく感動して、自分の国でも放映したいと申し出てきたんですよ。そして、僕のパフォーマンスの一部始終がフランスの夜のニュースで報じられました。

このパフォーマンスはフランスでも大きな反響を呼び、フランス人をおおいに笑わせた。そして、依太の生み出す笑いは、確実に地方と地方の壁、国と国との壁を溶かし始めている。

「僕の考え方としたら、京都出身とか、関西出身だからといってこうなつたとは思わない。よく「僕は大阪やから」と口にする人がいるけど、大阪ブランドや関西ブランドにこだわるような生き方はしたくないですね。世界的な目で見たらむしろ小さく小さい「違い」にとらわれてることになるでしょ。それよりもむしろ僕は「共通点」をみつけていくようなことを続けたい。それが万国共通の感情である「恐怖」であったり、「悲しみ」であったりするんですが、僕は怖がるのもイヤやし、泣くのも嫌い。やっぱり僕としては、「笑い」の中に共通点を見いだし、世界中のひとを笑かしていきたいと思う。」



全国ネットのプライダムセンターならではの高成立とアフターフォローで定評。

# クリスマス X'mas アンリミッツ™

—出逢い・KYOTOプログラム—

日本語ガイド / 要電話予約



短時間で効果的な成立システムと個別のアフターフォロープログラム

- 初参加が毎回7割以上で対策目的の独自プログラム
- 提供できない独特な当日成立重視の内容
- 不成立の方もメッセージの転送は後日指名公開無料
- やったりあの人、という様子のないアフターセッション付
- スムーズな会話ができるようにドリンク付(一献除く)

### コンパ感覚で気軽な White X'mas

カジュアルクリスマス

日時 12/10日 PM1:40~4:00

会場 京都第二タワーホテル

● 女性 ¥2000 男性 ¥3800 ● 予定人員 25名程度

● 18~27歳の社会人 ● カジュアルファッションで気軽に参加 ● 会場の雰囲気もカジュアル ● ドリンク付

### スーツの似合う大人色の Blue X'mas

プランニュークリスマス

日時 12/17日 PM1:40~4:00

会場 京都第二タワーホテル

● 女性 ¥3500 男性 ¥6500 ● 予定人員 20名程度

● 男性は343~355年生まれの方 ● 女性は30歳未満の方 ● 高成立で定評 ● デザート・ドリンク付

### やさしい出逢い Formal X'mas

マリージュシステムの

日時 12/23祝 PM12:00~2:30

会場 新阪急ホテル内(美濃吉)

● 女性 ¥10000 男性 ¥12000 ● 男性は29歳以上

● 男女共2年以内に結婚をお考えの方 ● 少人数制のあしゅショットでペアリングシステム・人柄重視 ● 男性は参加費に負担のない50万円以上の方 ● 大卒が公開 ● 自・又はマリージュメンバーの方 ● 事前に身上書作成 ● デザート・ドリンク付 ● やったりあの人、という様子のないアフターセッション付 ● 希望者は写真付き ● 参加者のお酒代も可能

プログラム名	日時	会場	参加費	定員	対象	内容
コンパ感覚で気軽なカジュアル	1/14日 PM1:40~4:00	ホテルアルファ京都	女性 ¥1500 男性 ¥3500	25名程度	18~27歳の社会人	● 会場の雰囲気もカジュアル ● 飲み会
仕事帰りによ日休みの方へウィークデー	12/6水・1/10水 PM7:30~9:40	ホテルアルファ京都	女性 ¥1700 男性 ¥3800	25名程度	20~30代の社会人	● 会場の雰囲気もカジュアル ● 飲み会 ● 職場の先輩種コンパの感覚で
スーツの似合う大人色のプランニュー	12/3日 PM1:40~4:00	ホテルリッチ(京阪本線五条駅)	女性 ¥3500 男性 ¥6500	20名程度	男性は343~355年生まれの方 ● 女性は30歳未満の方	● 高成立で定評 ● デザート・ドリンク付
やさしい出逢いマリージュシステムのフォーマルマリージュ	11/26日 PM12:00~2:30	京都タワーホテル	女性 ¥10000 男性 ¥12000	25名程度	男女共2年以内に結婚をお考えの方 ● 少人数制のあしゅショットでペアリングシステム・人柄重視 ● 男性は参加費に負担のない50万円以上の方 ● 大卒が公開 ● 自・又はマリージュメンバーの方 ● 事前に身上書作成 ● デザート・ドリンク付 ● やったりあの人、という様子のないアフターセッション付 ● 希望者は写真付き ● 参加者のお酒代も可能	

いい人で終るために... マリアージュシステム

● いい人で終る ● お酒代/パーティー/結婚指輪はアクリル製

責任カウンセラーによる入会制  
イベントと交際情報誌「ULGニュース」無料郵送OK!

お申込は西日本お客様センター(9~21時・土日祝休み)

**06-356-2211**

● 土日祝は 0070-800-900000 (キューナゴエン)

お問い合わせ 京都エリア担当(月~土・10~17時) 030-198-1983/030-660-9996

主催 西アンリミッツ西日本 版權所有 © エリア26A



## profile 越前屋倭太

1961年12月29日生まれ、京都府出身。  
関西大学社会学部マスコミュニケーション学科 映像論専攻。  
関西大学在学中、慧星のごとくTV界に登場。TVの常識と笑いの常識をことごとく覆すキャラクターでその名を視聴者に知らしめた。平成5年にはTV番組の企画制作会社(有)越前屋電視社を設立し、タレント活動を続けるかたわら、企画・演出・プロデュースなども手掛けるという多彩な才能を発揮。今年の秋にはこれまでの倭太の代表作の集大成であるビデオが一斉リリースされた。

主な出演作品  
「探偵ナイトスクープ」「情報スペース」「巨泉の使えない英語」など

### モーレッツ! 科学教室

製作総指揮 越前屋倭太

Chapter 11 走光性ってなに?  
Chapter 12 離核宇宙の謎

「モーレッツ! 科学教室」(全6巻)

### 越前屋倭太傑作集 I

「越前屋倭太傑作集」(全2巻)

### 倭太の逢々でござる

平成六年日本民間放送連盟賞  
テレビ娯楽番組部門  
最優秀賞受賞作品

出演 越前屋倭太  
職人さん 幼な子 おぼちやん

「倭太の逢々でござる」

### HYOUTA'S ANIMAL FAMILY

みんなで見なさい たのしいゾウ

第11巻 動物パンザイ6

「生き物パンザイ」(全6巻)

全てレンタル専用作品 発売・販売元/越前屋電視社